

# 耳鼻咽喉科・頭頸部外科

## 【一般目標】

- 1) 医療者の一員として診療に従事することで、医師としての責任感、職業的な技能、思考法、態度を、自らの実践の中で学ぶ。
- 2) 基本的診療手技とコミュニケーション技能を身につけ、患者およびその家族と良好な対人関係を築いて診療を進めることができるようになることを目指す。
- 3) 講義で学んだ知識を再確認し、また、講義では得られなかった、より実践的な知識を身につける。
- 4) 担当する患者の問題の理解に、基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を応用でき、病因・病態の理解から診断・治療までの一連の流れを総合的に理解する科目横断的な知識の応用と、問題解決型の思考過程を身につけることを目指す。
- 5) 実際の医療に直接接するなかで、自分の将来の医師像を具体的に構築する。

## 【到達目標（行動目標）】

- 1) コミュニケーションを通じ、患者および家族と良好な人間関係を築くことができる。
- 2) 診療記録とプレゼンテーションが正確にできる。
- 3) 耳鼻咽喉科・頭頸部外科診察を適切に実施することができる。
- 4) 耳鼻咽喉科・頭頸部外科の主要症候を理解し、鑑別診断の原則に基づいて以後の診療の計画を立案することができる。
- 5) 耳鼻咽喉科・頭頸部外科で行われる主要検査について、概要、有用性、限界、危険性を理解し、結果を解釈できる。
- 6) 以下の検査については耳鼻咽喉科・頭頸部外科実習中に実際に施行し、正常・異常の判別ならびに所見の記載ができるようにする。  
咽頭・喉頭ファイバー  
頸部ファイバー
- 7) 当院で行われている高気圧酸素治療について適応ならびに治療効果を理解する。
- 8) 医療チームの構成や各構成員（医師、薬剤師、看護師、その他の医療職）の中での自らの役割を理解し、チームの一員として診療に参加できる。
- 9) 自らが習得した知識・技能をチーム内で共有し屋根瓦式の医療チームのボトムアップを図る。

## 【注意事項】

- 1) 端正な服装を心がけ、清潔な白衣を着用すること。ネームプレートを付け、靴を履くこと（サンダルは禁止）。
- 2) 患者さんや他の医療スタッフと接する際には大人としての礼節を保ち、態度、言葉遣いに気を配ること。特に、患者さんと接する際には、実習に協力していただくことに対する感謝の気持ちを忘れないこと。
- 3) 守秘義務、個人情報の管理には常に留意し、患者さんのプライバシー保護にも気を配ること。また、予断や想像に基づく無責任な情報は決して伝えないこと。
- 4) 欠席、遅刻の場合は必ず届け出ること。

## 【実習の内容】

- 1) 第1週の月曜日にオリエンテーションを行い、ポートフォリオを配布するので、実習中に学んだこと、体験したことを実習中毎日漏らさず記入すること。また、実習中に調べた知識や検索した文献なども、すべて綴じこむこと。
- 2) 第1週の月曜日に指導医（初期研修医あるいは後期研修医）を割り当てるので、以後は実習期間中、常時指導医と行動を共にすること。具体的にどのような診療行為を行うかは、逐一指導医の指示を仰ぐこと。
- 3) 病歴聴取や診察で得た所見、また、その後行われた検査の結果や今後の治療方針など、主治医がカルテに記載すべき事柄については、すべて学生用の紙カルテに記載すること。これは医師が実診療に使うカルテ（電子カルテ）とは別物であるが、主治医として実際に診療用のカルテを書いているつもりで、すべての情報を漏らさず正しい書式で記載すること（カルテの病院外への持出は禁止とする）。
- 4) 月曜日・木曜日の全体回診の際には、患者の治療概要と現在の状態を簡潔に説明すること。また、月曜日の夕方に手術症例を中心としたカンファレンスがあるので、指導医の指定した症例について、症例提示を行うこと。そのために、既定の時間内で発表できるよう患者情報をまとめ、事前に準備しておくこと。

### （外来実習）

- 1) 耳鼻咽喉科所見の診察法を習得する。
- 2) 問診・耳鼻咽喉科所見に応じて、検査計画を立てる能力を習得する。
- 3) 耳鼻咽喉科検査法について、適応や検査法の実際を理解する。

### （病棟実習）

- 1) 個々の患者に対して、適切な治療計画を立案する。
- 2) 担当患者に対して入院の原因となった病態の医学的な理解を深め、患者のQOLを考慮した全人的なアプローチを学ぶ。
- 3) 病棟におけるチーム医療の一員として医師のなすべき役割を理解する。

### （手術室実習）

- 1) 一般的な外科手術手技のみではなく、耳鼻咽喉科に特有の内視鏡・顕微鏡下手術を理解する。
- 2) 主治医団と共に手洗いをし、手術を間近に見ることで耳鼻咽喉科領域の解剖ならびに疾患の病態に関する理解を深める。
- 3) 術前・術後の患者管理について習得する。
- 4) 手術室内では清潔・不潔の区分に十分留意し、指導医の指示に従って行動する。

【週間スケジュール】

	午前	午後	夕方
月	場所：外来 オリエンテーション 指導医割当て	場所：8A 病棟 全体回診・処置	場所：医局 症例検討会 17時～
火	場所：医局・病棟 講義 病棟処置	場所：外来 特殊外来見学 (エコー・生検外来)	
水	場所：外来 外来見学 (睡眠時無呼吸外来)	場所：手術室 手術見学	
木	場所：外来 外来見学	場所：8A 病棟 全体回診・処置	場所：放射線治療室 放射線カンファ 17時～
金	場所：手術室 手術見学	場所：手術室 手術見学	

【評価】

学生の評価は以下のように行う。

評価項目	配点
指導医による評価	20点
全体回診での患者提示の評価	15点
カンファレンスでのプレゼンテーションの評価	15点
手術室内での行動・態度の評価	15点
学生用カルテの内容の評価	15点
ポートフォリオの評価	20点